

ポリファーマシーって？

～薬の重複やリスクへの対策について考えてみませんか～

オンデマンド配信期間

令和5年4月3日（月）～令和5年5月31日（水）

視聴方法

福井県国民健康保険団体連合会のホームページよりご視聴ください。

お申込みは不要です。

https://www.fukui-kokuhoren.or.jp/?page_id=2186

内容

●開会挨拶 福井県医師会 会長 池端幸彦

分割での視聴可能
1 配信10～15分程度

●提言

「本事業の趣旨・ポリファーマシー対策について」

福井県若狭健康福祉センター 所長 四方啓裕

●報告

1) 「薬剤使用の適正化に向けて 病院の取り組みについて」

市立敦賀病院 院長 太田肇

2) 「福井県重複・多剤服薬多職種連携体制検討事業について

～重複・多剤処方現状とプログラムの策定～

福井県健康福祉部健康政策課 企画主査 飯島克枝

3) 「敦賀市（保険者）における薬剤適正使用の取り組みについて」

敦賀市国保年金課 主 幹 谷川昌幸

敦賀市健康推進課 保健師 吉村洋子

4) 「敦賀市医師会の取り組みについて」

敦賀市医師会 理事 熊谷将史

5) 「敦賀市薬剤師会の取り組みについて」

敦賀市薬剤師会 理事 角野雅之

●閉会挨拶 敦賀市医師会 顧問 川上究



—視聴後のアンケートにご協力お願いします！—

①Formsによる回答 ※パソコン・スマホ等から簡単に回答できます

URL・QRコード <https://forms.office.com/r/XHcweZHhgD>

②用紙への記入による回答

FAX：0776-20-0643（福井県健康政策課あて）



—裏面もご確認ください！—

【共催】福井県健康福祉部健康政策課（福井県国民健康保険団体連合会委託）

一般社団法人福井県医師会・一般社団法人福井県薬剤師会

< 薬剤適正使用に関する取組みについて >

福井県では、平成30年と令和元年に、重複多剤に関する研修を実施し、重複・多剤服薬処方を減らすためには、医師・薬剤師・保険者など多職種連携による取組みが重要であることが認識されました。

県では、令和2年度より敦賀市をモデル地区として関係者の連携体制の構築に向けた検討を始め、「敦賀市薬剤適正使用多職種連携プログラム」を作成し事業をすすめており、今回はその取組みの報告等を行います。

今回のスタートアップ研修会が、ポリファーマシー対策への意識の向上につながるとともに、県内各地域での取組みの充実や新たな展開につながるよう努めていただきたいと思います。



【注意事項】

- ・視聴にあたっては、下記の内容をご確認ください。
- ・使用する機器はご自身でご用意ください。
- ・視聴は通信状況の良い場所で行ってください。
- ・視聴には多くのデータ使用量を要しますので、パソコン・スマートフォン・タブレット等の端末で視聴される際は、Wi-Fi環境での視聴を推奨しております。
- ・この動画を無断で、録画、録音、撮影、複製、放送等行うことは禁止しております。（所属における研修会等で2次利用等を希望される場合は、福井県健康福祉部健康政策課または福井県国民健康保険団体連合会までご相談ください。）
- ・配布資料は各自ダウンロードしてください。印刷して郵送、メール添付での送付はいたしません。

【お問い合わせ先】

福井県国民健康保険団体連合会 保険者支援課
TEL : 0776-57-1612 FAX : 0776-57-1625